

一般社団法人日本医療薬学会  
2021年度第3回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2021年7月27日（火） 13時30分～17時15分

二．開催場所： インターネットを介したウェブ会議（Zoomを利用）

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 武田 泰生、山田 安彦、山本 康次郎

理 事： 石井 伊都子、石澤 啓介、出石 啓治、大谷 壽一、河原 昌美、  
吉光寺 敏泰、崔 吉道、齋藤 秀之、齋藤 嘉朗、鹿村 恵明、  
寺田 智祐、富岡 佳久、村木 優一、百瀬 泰行、矢野 育子

監 事： 大森 栄、佐々木 均、望月 眞弓

陪席者

顧 問： 木平 健治、安原 眞人、和田 一夫

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、田中 結寿、大湊 宏味

欠席者

理 事： 田崎 嘉一

顧 問： 山本 信夫、五十嵐 邦彦

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 18名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。また、途中退席予定の理事が複数名いるため、議事の順番を変更して進行する旨の説明があった。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 2021年度第2回定例理事会議事録の確認

議長より、2021年5月31日に開催された2021年度第2回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

2. 協議事項

(1)事務局会議室に隣接する日病薬会議室の取り扱い

議長より、学会事務局が入居しているスペースは、その一部を分割して日病薬が会議室として賃貸借していること、また賃貸借契約書及び覚書では、いずれか一方の組織の意向のみで当該契約を解除することができず、不動産管理会社を含めた三者間で契約を締結している状況であること、今般、日病薬から前述した日病薬会

議室の賃借契約の解除の打診があった経緯が説明された。続いて、仮に日病薬が契約を解除する場合には、本学会が承諾するとともに日病薬会議室の賃貸借契約を本学会が引き継ぐか、あるいは本学会の事務局が退去しなければならないことより、前者の場合の費用負担のシミュレーションデータなどを基に、その対応を協議した。出席役員より、日病薬会議室の賃借契約を本学会で引き継ぐ場合には大幅なコスト増が見込まれること、コロナ禍で対面での会議開催回数が著しく減少している現状且つ今後の活用見込みを踏まえ、会議室の拡張及び費用負担に学会員の賛同が得られるかという意見があったため、事務局の移転も含めて検討した方が良いという意見や複数の薬学関係団体が同じ建物内に入っていることに意義があるのではないかという意見等、様々な意見が出された。今後、日病薬からの正式な申し入れを受けた後に正式に回答をすることになるが、いったんは賃借契約を引き継いだうえでスペースの有効活用について検討を進めるのが良いのではないかということになった。

#### (2) 2022 年度事業計画（案）

石澤理事より、2022 年度事業計画案の説明があった。協議した結果、各委員会からの申請内容を再度確認したうえで次回の理事会で最終的な確認をすることとなった。

#### (3) 2022 年度予算（案）

崔理事より、2022 年度予算案の説明があった。次回の理事会で最終的な確認をすることとなった。

#### (4) 創立 30 周年記念座談会の報告、記念誌の作成・配布

山田副会頭より、7 月 4 日（日）に開催された創立 30 周年記念座談会の実施報告があった。また、記念誌の作成・配布の方法及び作成費用について、2 種類の製本パターンと 3 通りの配布方法、有償販売時の価格などの情報を基に説明提案があり、いずれのケースであっても当初予算を上回る見通しとなったため、改めて検討した上で再度理事会で協議されることとなった。

#### (5) 2021 年度専門薬剤師認定試験の合否判定

寺田理事より本年 7 月 4 日（日）に実施した 2021 年度専門薬剤師認定試験（第 5 回薬剤師生涯学習達成度確認試験）の実施状況及び合否判定の報告があった。専門薬剤師認定試験小委員会において、2020 年度理事会で了承された合格判定基準に基づき合否判定を行ったところ、例年よりも合格基準点が高い結果となった。本結果を専門薬剤師制度運営委員会で協議したところ、複数の委員より基準点が高すぎるという反対意見が出されたことが説明された。本件について協議した結果、専門薬剤師制度運営委員会に差し戻しとなった。

#### (6) 2020 年度医療薬学専門薬剤師・指導薬剤師の更新の追加認定

百瀬理事より、更新申請案内のメールの未着信を原因とする 2020 年度医療薬学

専門薬剤師・同指導薬剤師の更新申請に各々追加申請があり、医療薬学専門薬剤師認定委員会がメールによって審議を行った結果、医療薬学専門薬剤師 1 名、医療薬学指導薬剤師 1 名の更新が認められると判定したことが説明された。協議した結果、当該更新は了承された。また、今後の周知の改善策として、メールのみならず、未申請者に対する電話や郵送等による周知の実施も行うこととした。

#### (7) 専門薬剤師制度の運営に係る審議・報告・各制度の規程、細則の改正

石澤理事より、各専門薬剤師制度の規程・細則の記載整備として、各制度間で文言を統一すること、学会発表要件に地方大会名を列記することなどの整備に係る報告があった。協議した結果、各制度の規程・細則の改正が了承された。

#### (8) 論文賞受賞者選考

##### ① 医療薬学誌論文賞授賞の決定

武田副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び医療薬学誌論文賞選考小委員会）において、今年度の医療薬学誌論文賞の授賞候補として、本理事会に 3 編の候補論文を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 編への医療薬学誌論文賞の授与が了承された。（以下、掲載順）

##### ・論文題目（一般論文）

『日本人悪性リンパ腫患者におけるリツキシマブの先行バイオ医薬品とバイオ後続品の有効性・安全性の評価』

著者／伊勢崎竜也，宮川慧子，平田一耕，成田健太郎，舟越亮寛

（医療薬学 Vol. 46, No. 3, 126-137）

##### ・論文題目（一般論文）

『病診薬連携で行う吸入支援のアウトカムの評価』

著者／鋒山香苗，杉本充弘，米澤淳，寺尾真琴，山本浩貴，吉田優子，朝倉佳代子，深津祥央，谷村和哉，佐藤晋，松本久子，中川俊作，北田徳昭，平井豊博，松原和夫

（医療薬学 Vol. 46, No. 8, 405-413）

##### ・論文題目（一般論文）

『経口抗がん薬治療における情報共有ツールおよびチーム基盤型学習を用いた病診薬連携の有用性の評価』

著者／植田梨沙，丹田雅明，伊藤雄大，榎本彩花，飯田真之，水田直美，山本和宏，榎本博雄，大村友博，矢野育子

（医療薬学 Vol. 46, No. 12, 681-691）（2020）

##### ② JPHCS 誌論文賞授賞の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会（及び JPHCS 誌論文賞選考小委員会）において、今年度の JPHCS 誌論文賞の授賞候補として、本理事会に 3 編の候補論文を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 編への JPHCS 誌論文賞の授与が了承された。（以下、五十音順）

・論文題目

「Comparison of various pharmaceutical properties of clobetasol propionate cream formulations - considering stability of mixture with moisturizer -」

著者／Yoshihisa Yamamoto, Yoshinori Onuki, Toshiro Fukami and Tatsuo Koide (JPHCS 2020 6:1)

・論文題目

「Prediction of the permeability of antineoplastic agents through nitrile medical gloves by zone classification based on their physicochemical properties」

著者／Toyohito Oriyama, Takehito Yamamoto, Katsuhiko Nara, Yohei Kawano, Katsuyoshi Nakajima, Hiroshi Suzuki and Takao Aoyama (JPHCS 2020 6:23)

・論文題目

「Evaluation of the efficacy of drug treatment based on measurement of the oxidative stress, using reactive oxygen metabolites and biological antioxidant potential, in children with autism spectrum disorder and attention deficit hyperactivity disorder」

著者／Taisuke Kitaoka, Masahito Morimoto, Toshiaki Hashimoto, Yoshimi Tsuda, Tadanori Nakatsu and Shojiro Kyotani (JPHCS 2020 6:8)

(9) 各学会賞選考規程・内規の改正

武田副会頭より、各学会賞（日本医療薬学会賞、学術賞、奨励賞、Postdoctoral Award）の選考規程及び内規の見直しを行ったことが説明された。協議した結果、本件は了承された。

(10) 2022-2023年度役員候補者選挙に係る公示等の確認、選挙管理委員会の編成

石澤理事より、2022-2023年度役員候補者選挙に係る公示文書等の確認依頼と、本選挙の選挙管理委員会（6名）の編成案に係る説明があった。協議した結果、選挙公示文書等への意見は無く、選挙管理委員会の編成が了承された。

(11) 公益法人化等将来計画検討委員会（仮称）の立ち上げ

議長より、公益法人化等将来計画検討委員会（仮称）の立ち上げについて説明があった。本委員会は、本学会の将来構想に関する議論を行い、学術団体としての運営方針や組織体制のあり方を提言としてまとめることで、事業の継続性を担保し本学会の持続的な発展に資することを目的とすること、また既存の公益法人化検討特別委員会を廃止して本委員会に統合する。協議した結果、当該委員会の立ち上げが了承された。

(12) 第13回臨時社員総会、2021年度学会賞表彰式の開催日時等の確認

事務局より、第13回臨時社員総会及び2021年度学会賞表彰式の開催日程、会場

及び出席対象者に係る相談があった。協議した結果、予定通りに第 31 回年会の 2 日目に開催することが了承された。また、第 14 回定時社員総会の開催日程、開催地の検討については、次回理事会で検討することとなった。

(13) 前年度会費遡及納入に係る嘆願への対応 (2件)

議長より、前年度会費の遡及の嘆願 2 件についての説明があり、協議した結果、本嘆願を了承することとなった。

3. 報告事項

(1) メール審議による理事会審議の結果報告

事務局より、前回理事会以降にメール審議された案件の概要と審議結果が報告された。

・2021 年度 日本薬剤師会との共催による「地域薬学ケア専門薬剤師制度の連携研修マッチングに係る説明会」の開催について (6/10)

・2021 年度地域薬学ケア専門薬剤師研修施設「基幹施設」の認定に係る審議 (7/9)

(2) 第31回年会 (熊本) 準備状況報告

齋藤年会長より、本年 10 月に開催される第 31 回年会について、準備状況が報告された。

(3) Web 申請審査システムの契約

事務局より、Web 申請審査システムの契約に関する一連の書類の紹介と当該書類をもって契約を締結したい旨の報告があった。

(4) 第 4 回フレッシュャーズ・カンファレンスの開催報告

議長より、第 4 回フレッシュャーズ・カンファレンスの開催報告が紹介された。

(5) 第 31 回年会における国際化事業の進捗状況報告

矢野理事より、第 31 回年会における国際交流事業の一環としてのシンポジウムと一般演題等の準備・登録状況と、一般演題への登録依頼があった。

(6) 後援申請への回答 (2 件)

・第 29 回オンコロジーセミナー (NPO 法人がん医療研修機構)

・第 23 回アップデート教育コース (日本癌治療学会)

(7) 各委員会報告

広報・出版委員会、がん専門薬剤師能力向上委員会、選挙制度委員会の各委員長より、会議の概要が紹介された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 17 時 15 分に閉会を宣言し、解散した。